

令和八年一月三十日

令和八年度東京都予算案の発表にあたつて（談話）

東京都議会自由民主党幹事長 小松大祐

都議会自民党は、昨年末、我が会派の政策集、「7 U P ! T O K Y O プロジェクト」で掲げた以下のプロジェクト実現に向けて予算要望を行いました。

- ～防災力を上げる～
～収益・収入を上げる～
～健康寿命を上げる～
～子育て環境を上げる～
～人の可能性を上げる～
～都市力を上げる～
～テクノロジーを上げる～
- ～働き方改革を踏まえた中小企業支援と賃上げの後押し
～明るく元気に暮らせる豊かな高齢社会の実現
～子育て家庭の負担軽減、若者や子供たちの生活を豊かに
～教育、人づくりへ重点投資
～世界で一番魅力あふれる都市・東京へ
～最先端技術や高度人材で地球規模の課題を解決

こうしたプロジェクトに加え、重点要望も行いました。
都市強靭化の推進に向けては住宅・マンションの耐震化推進や、WIFI強化など被災時の通信機能の充実強化、避難所の環境整備や災害時のトイレ確保に向けた対象品目の追加や、道路橋梁などインフラの耐震化推進、無電柱化の推進、都の立川防災センターにおける新たな防災拠点整備や、老朽化した下水道施設の早期再構築などを要望しました。

東京の経済力向上に向けては、中小企業の実態を踏まえた働き方改革を進め、適正な価格転嫁や適正な賃上げを支援するとともに、カスタマーハラスマント条例の下、働きやすい環境づくりに取り組み、スタートアップ戦略2・0に基づく、企業のグローバル展開や成長に向けた投資への支援を要望しました。

医療・高齢者対策としては、地域医療確保に係る緊急臨時支援事業について、病院経営の厳しい状況に鑑み、国の診療報酬改定状況を踏まえた支援の継続とともに、医療機関同士の情報共有を進め、都立病院の経営改善にも取り組み、認知症の早期発見に向けた検診・診断を後押しするため、受診した都民への費用軽減にも取り組むことを要望しました。

教育政策では、海外留学支援とともに、ジュニア・スポーツの活動支援や先端技術などものづくり教育とともに、チャレンジクラス、巡回教員、校内別室指導や、バーチャル・ラーニング・プラットホームなどの不登校対策や、特別支援学校の適正配置、私立学校での「いじめの重大事態」における第三者委員会設置などの体制確保への支援などを要望しました。そして、2026年度の与党税制改正大綱における、新たな偏在是正策を検討するという方針について、都議会自民党は断固反対するとともに、ふるさと納税の抜本的見直しについては、林総務大臣に申し入れを行いました。

今回発表された令和8年度東京都予算案では、我が会派の要望の多くが反映されていますが、今後の予算審議にあたっては、行政運営の長期展望を踏まえ、東京を取り巻く様々な課題に迅速かつ的確に対応すると同時に、高市政権の掲げる責任ある積極財政と連携し、時代の変化に対応した各種施策の展開に向けて、議論を尽くしていかなければなりません。

都議会自民党は、こうした観点から、来月開会される第一回定例会、その後に続く予算特別委員会において、令和八年度予算が、都民生活を守り、東京の発展につながる予算となるよう全力で臨んでまいります。